

# 『さいせき・函館』… 20130200号



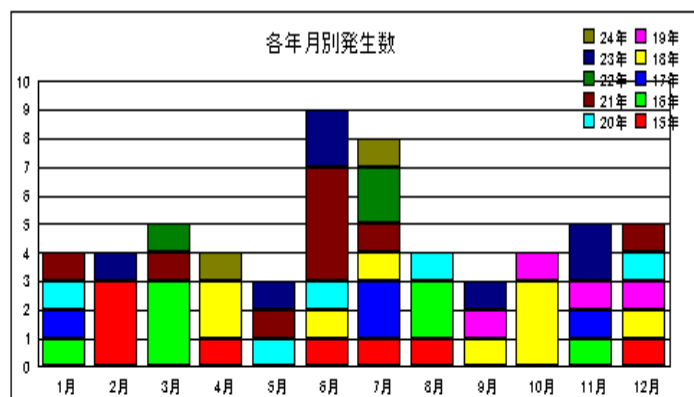
今年は、雪が少なくて冬季作業がし易くて良いなあーと思っていましたが、何と言うことでしょうか。下手すると昨年より多い気がしてなりません。2月21日青森市の酔ヶ湯温泉では国内最高積雪の515cmを記録しました。『雪は豊年の瑞(ゆきはほうねんのしるし)』その年は、豊作になる前兆だと言われていています。政権が代わり、補正予算も新年度予算も期待しているものが実れば、豊年満作ですが。先ずは、この冬を乗り切って春の訪れを楽しみに待ちましょう。初めて雪を体験する訳ではありませんが、十分に作業に対しては注意して乗り切っていきましょう。『安全』と『生産』は車の両輪だと北海道地方本部の毛利事務局長がよく言われております。その通りですね。頑張りましょう。

## ◇社団法人・日本砕石協会の動向

◎平成24年死亡災害発生状況について…死亡災害が過去最小に

・(社)日本砕石協会の会員事業所における死亡災害は二件二人となり、暦年ベースで過去最小になりました。

平成	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
15年	0	3	0	1	0	1	1	1	0	0	0	1	8
16年	1	0	3	0	0	0	0	2	0	0	1	0	7
17年	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	4
18年	0	0	0	2	0	1	1	0	1	3	0	1	9
19年	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	4
20年	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	5
21年	1	0	1	0	1	4	1	0	0	0	0	1	9
22年	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3
23年	0	1	0	0	1	2	0	0	1	0	2	0	7
24年	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2



しかし、一月には入り一件発生しております。

この様な結果から、たまたま昨年は死亡災害につながらなかったということでお一層、労働災害防止に向けて取り組んで貰いたいとしています。

## ◇北海道砕石協同組合連合会・(社)日本砕石協会北海道地方本部の動向

◎北海道開発局主催『建設資材対策北海道地区連絡会』が、2月22日に開催されます。

議題は、東北震災復興に関して建設資材流通の在り方についての意見交換会実施に事務局長出席。

その中で、北海道における砕石の主要用途別生産量及び出荷数量の推移と砕石事業を取り巻く問題について地方本部として協議してくるそうです。協議結果は、次号で報告したいと思います。

## ◇道南地区砕石協同組合・(社)日本砕石協会北海道地方本部函館支部の動向

◎元砕石協会函館支部事務局長 竹内 信一氏の通夜が1月30日(水)午後6時よりありました。氏は、平成10年から約8年間、函館支部会員のためご尽力頂きました。ご冥福お祈り申し上げます。

◎2月18日(月)北海道議会議員 富原亮氏の新春の集いが鹿部ロイヤルホテルで開催されました。

◎2月19日(火)午後4時~役員会開催(議題:平成24年度決算見込み、平成25年収支予算、規約の改正、他)

◎函館支部事務局長の吉田鼓美さんが、今年で勤続30年を迎えます。それに伴い本部より永年勤続表彰を授与されることになりました。おめでとうございます。そして、御苦勞様です。これからも頑張ってお互いの面倒を見て頂きたいと思っております。宜しくお願い致します。

以上、報告とします。

組合に対してのご要望・ご意見等がありましたら、いつでも連絡下さい。

吉田が敏速に対応致します。本年も理事一同、頑張りたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

『さいせき・函館』… 20130200号